

ここが聞きたい!

# いっぱん

大垣照子 議員

## いじめ問題、本町の実態は

**教育長** 数件ありましたが  
深刻なケースはありません



**問** 滋賀県中2男子生徒の自殺を発端に、いじめについての関連や真相がクローズアップされている。本町におけるいじめの実態について伺う。

**答** 安部教育長  
平成23年度のいじめ事例は、小学校2校で3件、中学校2校で4件認知されましたが、一定の解消が図られ再発防止の継続支援で、深刻なケースに至った事例はありません。平成20年度、21年度は各2件、22年度は1件認知されています。

**問** いじめがエスケー

トすると深刻な状況が発生する。不幸なことにつながらないために早期発見や発生させないことが必要。児童生徒間の円滑なコミュニケーションのとりに方や命の大切さ、人への思いやりの心を育む教育、教師と家庭、地域社会との協力体制の構築が必要。町の対策は。

**答** 安部教育長  
各学校では、教職員間で共通理解を図り、道徳や学級活動の時間に指導を行っています。

また、児童会・生徒会活動を利用し考えさせたり、スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用し校内における指導や相談体制の整備と充実を図ってきています。対応と指導方針を公表し、関係団体等と連携力の対応を図ることが必要と考えています。

**問** 小・中学校における不登校児童生徒数と、不登校の原因把握と対応について伺う。

**答** 安部教育長  
本町における不登校の児童生徒数は、平成20年

度が小学校が2人、中学校16人、21年度は、同5人、同28人、22年度が同2人、同13人、23年度は中学校のみ11人です。

※町として問題の把握と、対処できる人材配置を求められたい。

**問** 今年の職員採用は、20人程。不足の看護師等はない多くの職員採用を行ったのはなぜか。

**答** 団塊の世代等の退職や権限委譲による業務の増加、新規採用職員の離職や採用内定者の辞退が続き、予定していた職員確保が困難に。年齢構成にもゆがみが発生し、昨年は民間経験者を中心に採用試験を実施しました。

**問** 本年度の採用試験は、二次試験の人物試験と作文のみにした理由は。

**答** 昨年の町村会の合同試験では、内定辞退があり採用ゼロが生じ急遽、民間経験のあるU・T・V入者を狙って1月末に試験。学力試験は、民間経験者に不利なこともあり、理論構成能力等の作文と面接試験のみ行いました。

※今後は高度で専門的な知識を有する優秀な職員確保を。

**問** 三成遊園地に寄贈されたミロのヴィーナス像、町営プール入り口にダビデの像が設置されたが、小さい子どもが利用する施設に、これ等の像の設置は違和感がある。町長は、独自判断で設置されたのか。

**答** 東京の美術商の方にお願ひし、アドバイスを頂き寄贈者の意向に沿う形で設置しました。

**問** 一体1千万円と伺っていたが、台座は町が造ったのか。費用も掛かるが議会には何もない。掛かった費用と工事内容は。

**答** 森長地域振興課長  
町が発注し台座と像の据付費用は、1千570万円、像がきた時の囲み費用が50万円で、サイン計画の23年度繰越事業で設置しました。

※町は、1千600万円余も掛けての設置だが、税負担をお願いする町民の皆さんの意見に耳を傾け、求められている事に情熱を注がれたい。